

令和3年4月1日付け採用
高知県公立学校教員採用候補者選考審査
筆記審査(専門教養)

特別支援学校 中学部・高等部 国語

受審番号		氏名	
------	--	----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答主紙(マークシート)は2枚あります。切り離さないでください。

- 3 解答主紙(マークシート)は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。
 - 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。

(良い例) 
マーク例

(悪い例)   

- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

- ※ 正しくマーク(正しい選択問題への解答及びマーク)していないと、正確に採点されませんので、注意してください。

		受 審 番 号										
		万	千	百	十						一	
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

記入例

(受審番号12345の場合)

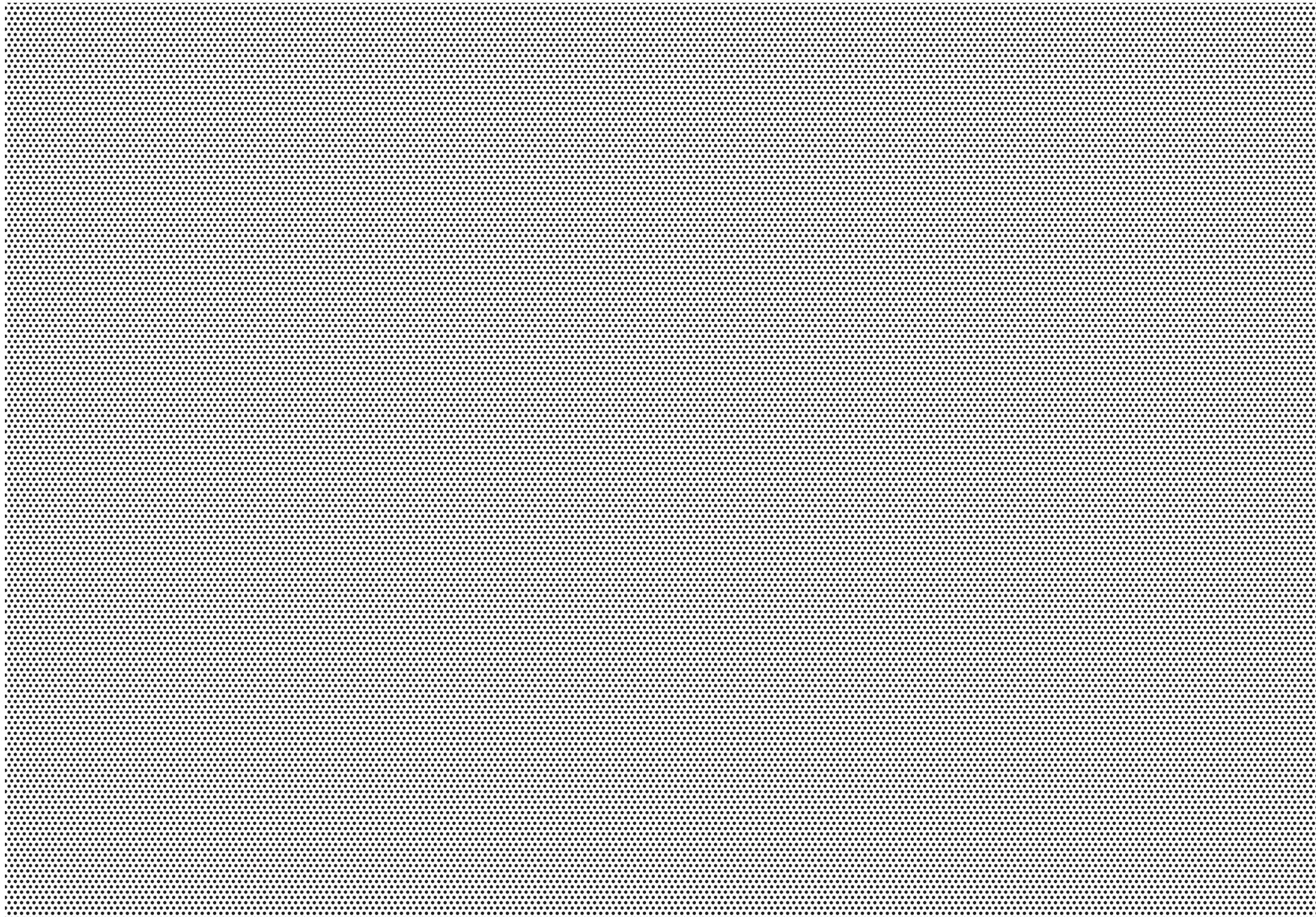
- 4 解答は、解答主紙(マークシート)の解答欄をマークしてください。例えば、解答記号 ア と表示のある問いに対してbと解答する場合は、下の(例)のように**アの解答欄の** b をマークしてください。

(例)

ア	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	+
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

- 5 筆記審査(専門教養)が終了した後、解答主紙(マークシート)のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。



第1問 次の1～4の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(4)の傍線部の漢字と同じ漢字を含むものを、あとのa～eの中からそれぞれ一つ選びなさい。

(1) 十年ぶりに訪れた故郷はすっかり昔とは変わっていて、隔世のカンを禁じ得なかつた。ア

- a 大事な会議で初歩的な読み間違いをし、カンガンの至りだった。
- b この地区では、祭りの最後に餅まきをするのがカンシユウとなっている。
- c 正月の休みで、鮮魚市場もすっかりカンサンとしている。
- d 自らが決断したことならば、失敗してもカンジュしなければならぬ。
- e 英語の得意な友人にカンカされて、来月から英会話を習うことになった。

(2) センキョウシとして異国に赴く。

イ

- a 以前、長野で冬季五輪の開会がセンゲンされたことがあった。
- b 最終まで残ったものの、代表メンバーのセンに漏れてしまった。
- c 社長にセンケンの明があったため、会社が大きく発展した。
- d 状況が思わしくないため、センセンを縮小し防御に徹する。
- e 何年もかけて開発した製品で、ようやくセンバイ特許がとれた。

(3) この言葉をコウギに解釈すると、その事象もあてはまるようだ。

ウ

- a 彼のためには、これまでも何かとベンギを図ってきた。
- b 昨日、おごそかに姉の結婚のギが執り行われた。
- c 総会で、ギチヨウが開会の挨拶を行った。
- d 社会人としてのギムは、きちんと果たすべきだ。
- e 大事な場面でギダを打って、走者を進塁させる。

(4) 彼は大きな成功を収めたことよつてグウゾウ化された。

エ

- a 転職したら、前の会社よりもタイグウが良くなった。
- b イギリス行き飛行機で、グウゼン、彼と一緒にになった。
- c 新年に皇居に参賀に赴き、トウグウ御所も見てきた。
- d そのグウワには、生きる上で大切な教訓が含まれている。
- e 私の座右の銘は、イチグウを照らすという言葉だ。

2 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 読み方の間違っている熟語を、次のa～eの中から一つ選びなさい。 オ

a 頒布 はんぷ b 正鵠 せいこく c 邂逅 かいこう d 妄執 もうしつ e 収斂 しゅうれん

(2) 「考」という字を構成する部首「考」の名称として正しいものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。 カ

a ひとあし b あみがしら c おいかんむり d かくしがまえ
e ふしづくり

3 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 四字熟語とその意味の組み合わせとして適切でないものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。 キ

a 一衣帯水 ↓ 一本の川が帯のように続くように、とても長い時間が経過すること。
b 偕老同穴 ↓ 生きては共に老い、死んでは同じ穴に葬られることから、夫婦の仲が良いこと。
c 剛毅朴訥 ↓ 意志が強く、素朴で言葉に飾り気がないこと。
d 有為転変 ↓ 世の中の移り変わりが激しく、万物が変化してやまないこと。
e 荒唐無稽 ↓ 現実離れしていて、根も葉もないでたらめなこと。

(2) 慣用句の使い方として適切でないものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

ク

a 専務は、社長になるチャンスを爪を研いで待ち構えている。
b あまりに高額の買い物をしてしまったため、借金で首が回らない。
c 普段からあまり親しくないのに、彼には気が置けない。
d あれだけ一生懸命働いたのに、雀の涙ほどの退職金しか出なかった。
e 会議で誰も発言しなかったので、まず私が口を切った。

(3) 故事成語とその説明の組み合わせとして適切でないものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

ケ

- | | | | |
|---|--------------------|---|---|
| a | 曲学阿世 | ↓ | 真理を曲げて、権力者にこびたり、世間へつらったりして人気をとろうとすること。 |
| b | 燕雀安くんぞ鴻鵠の志を知らんや | ↓ | 小人物には、大人物の遠大な心はわかるものではないということ。 |
| c | 螢雪の功 | ↓ | 螢の光や雪明かりを灯火の代わりにするような苦勞のもと学問をし、立派になること。 |
| d | 青は藍より出でて藍より青し | ↓ | 弟子が師匠よりも優れることのたとえ。 |
| e | 屋下(いせ)に屋(いへ)を架(か)す | ↓ | 屋根の下にもう一つ屋根を作るような、慎重にも慎重を期すことのたとえ。 |

4 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次にあげる文に含まれる活用した「れる・られる」について、自発の意味であるものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

コ

- a 年配の方が自転車に乗って、よく買い物に来られる。
- b 故郷で一人暮らしをしている母のことが案じられる。
- c 小さいころ、よく祖母にその土地に伝わる昔話を聞かされた。
- d クラスのみんなの信頼が得られれば、文化祭は成功したも同然だ。
- e 彼のような実直な人が言う話なら、初めて聞くことでも信じられる。

(2) 次にあげる文に含まれる「から」について、原因・理由の用法で用いられている格助詞であるものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

サ

- a 両親は先週から旅行に行っています。
- b 雨が降るから体育祭は中止だ。
- c 暗くなってきたから家に帰ろう。
- d 試験の不安からよく眠れなかった。
- e 昨日外国から帰国したばかりです。

第2問 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(河野哲也『人は語り続けるとき、考えていない 対話と思考の哲学』による)

1 文章中の に当てはまる言葉として最も適切なものを、次の a～e の中から一つ選びなさい。

- a しかしながら
- b すなわち
- c このようにして
- d そのうえ
- e いずれにしても

2 傍線部②「啓蒙」と同じ組み立てで構成されている熟語を、次の a～e の中から一つ選びなさい。

- a 思考
- b 鎮火
- c 往復
- d 切望
- e 雷鳴

3 傍線部③「入ってはならない隘路に踏み込んでしまった」とあるが、その内容の説明として最も適切なものを、次の a～e の中から一つ選びなさい。

- a 哲学の学派が没交渉となり、専門知識の集積が必要になったということ。
- b 哲学が学問として精緻になり、市民からの視点と離れたものになったということ。
- c 哲学の学派が没交渉となり、二つの現代哲学の潮流が生み出されたということ。
- d 哲学の学派が没交渉となり、教養のある人間が少なくなってしまったということ。
- e 哲学が学問として精緻になり、啓蒙主義の理解に専門知識が必要になったということ。

4 傍線部④「重大な、失うべきではない知的な営み」とあるが、その内容の説明として最も適切なものを、次の a～e の中から一つ選びなさい。

- a 様々な人の書簡集を読み応えのある哲学的な対話であることとみなすこと。
- b 教養のある一般人が著名な哲学者と対話を行っていくということ。
- c 一般人が他者との対話を行いながら真理を見出していくということ。
- d 自然科学の実証主義的な研究手続さを定着させるということ。
- e 一八世紀までの哲学と二〇世紀以降の哲学を区別して考えるということ。

5 文章中の ・ に当てはまる言葉の組み合わせとして、最も適切なものを、次の a ～ e の中から一つ選びなさい。

- | | | | | |
|---|---|----|---|------|
| a | ⑤ | しか | ⑥ | せいぜい |
| b | ⑤ | さえ | ⑥ | とうてい |
| c | ⑤ | しか | ⑥ | ようやく |
| d | ⑤ | すら | ⑥ | とうてい |
| e | ⑤ | さえ | ⑥ | せいぜい |

6 傍線部⑦「対話的な全体性とはむしろ個人の差異化を意味する」とあるが、その内容の説明として最も適切なものを、次の a ～ e の中から一つ選びなさい。

- a 対話的な全体性は、分断された知に基づいて人間の独立性を確立するものだということ。
 b 対話的な全体性は、それぞれの自由な考えを保証することを目的とするものだということ。
 c 対話的な全体性は、知の全体性に多様性を生み出すことができるものだということ。
 d 対話的な全体性は、異なる見解同士の対話による人間のつながりに基づくものだということ。
 e 対話的な全体性は、それぞれの人間が持つテーマから共通性を見出すものだということ。

7 傍線部⑧「『科』学」の文章中における意味として、最も適切なものを、次の a ～ e の中から一つ選びなさい。

- a 世界をまとめていくもの。
 b 真理を発見していくもの。
 c 対象を区分していくもの。
 d 生活を便利にしていくもの。
 e 実験で実証していくもの。

8 傍線部⑨「哲学における対話の伝統は、渾沌を蘇らせるためのものである」とあるが、その内容として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。 ク

- a 古来より続く哲学の対話は、近代の科学によって築き上げられた専門性を取り戻すためにあるということ。
- b 古来より続く哲学の対話は、荘子の中で語られている渾沌という人物を再評価するためにあるということ。
- c 古来より続く哲学の対話は、渾沌の逸話のように科学が知を分断していることを明らかにするためにあるということ。
- d 古来より続く哲学の対話は、分類的な秩序を与えると全体の命が失われてしまうことを示すためにあるということ。
- e 古来より続く哲学の対話は、専門化によって生じた人間や社会の様々な分断を克服するためにあるということ。

9 本文の文章構成についての説明として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。 ケ

- a 哲学の知のあり方とその変容について言及してから、現代の哲学の問題点を指摘し、最後に、それを踏まえた筆者の主張を、比喩的な話を交えながら述べている。
- b 哲学と科学の関係について詳述し、哲学の本質が対話にあることを述べてから、対話の消失によって起こる社会の問題点と対応方法について説明している。
- c 哲学が他の学問と異なる点を述べた後、哲学の優れた特徴が失われる過程を歴史的な流れに沿って説明し、最後に比喩的な話を交えながら、哲学の復権を主張している。
- d 哲学に関わる専門性と一般性の問題に言及してから、哲学が難解になった理由を述べ、最後に平易な哲学に戻す方法として、対話の重要性に触れている。
- e 哲学のあり方に関わる歴史的な変化を二つの視点から述べた上で、両者の共通点と相違点を詳述し、最後に比喩的な話を交えながら、筆者の主張を述べている。

10 本文の内容に合致するものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。 コ

- a 哲学の知のあり方と科学の知のあり方は、根本的に相容れないものである。
- b 哲学における対話の消失は、近代的な知の編成に巻き込まれたことと関係する。
- c 対話によって復元される全体性は、専門性と人間性を結びつけることができる。
- d 哲学は、啓蒙主義の時代に、教養のある一般人との対話を通して発展してきた。
- e 平易な言葉で説明することが、哲学にとって最も重要なことである。

第3問 次の文章は『建礼門院右京大夫集』中の一節で、作者が建礼門院を大原の寂光院にたずねたときの感慨を述べている部分である。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

女院、大原におはしますとばかりは聞きまゐらすれど、さるべき人に知られでは参るべきやうもなかりしを、^①深き心をしるべにて、^②わりなくて尋ねまゐるに、やうやう近づくままに、山道のけしきより、まづ涙は先立ちて言ふ方なきに、御庵のさま、御住まひ、ことがら、すべて目も当てられず。昔の御有様^③見まゐらせざらむだに、大方のことから、いかがことも^④なのめならむ。A、夢うつつとも言ふ方なし。秋深き山おろし、近き梢に響きあひて、懸樋の水のおとづれ、鹿の声、虫の音、いづくものことなれど、例なき悲しさなり。都ぞ春の錦を裁ち重ねて候ひし人々、六十余人ありしかど、見忘るるさまに衰へはてたる墨染めの姿して、僅かに三四人ばかりぞ候はるる。その人々にも、「さてもや」とばかりぞ、我も人も言ひ出でたりし、むせぶ涙におぼはれて、すべて言も続けられず。

B
今や夢昔や夢とまよはれていかに思へどうつつとぞなき
仰ぎ見し昔の雲の上の月かかる深山の影ぞかなしき

花のほひ、月の光にたとへても、一方には飽かざりし御面影、あらぬかとのみただらるるに、かかる御事を見ながら、何の思ひ出なき都へとて、されば何とて帰るらむと、^⑤うとましく心憂し。

山深くとどめおきつるわが心^⑥やがて住むべきしるべとをなれ

(『建礼門院右京大夫集』による)

女院Ⅱ建礼門院徳子。平清盛の女で安徳天皇の母。
さるべき人Ⅱ女院に縁のある人物。
あらぬかとのみⅡ別人ではないかとばかり。

1 傍線部②「わりなくて」、④「なのめならむ」、⑥「やがて」のここでの意味として最も適切なものを、あとのa～eの中からそれぞれ一つ選びなさい。

②「わりなくて」

ア

- a 無理に
- b ひっそりと
- c 我慢して
- d 短い時間
- e 少しずつ

④「なのめならむ」

イ

- a 注意深くしよう
- b 再考してほしい
- c いい加減に思うだろうか
- d 熟慮しているだろうか
- e つらく思うに違いない

⑥「やがて」

ウ

- a そのうちに
- b すぐさま
- c きつと
- d 安心して
- e そのまま

2 傍線部①「深き心をしるべにて」の意味として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

エ

- a 仏の慈悲の深さだけを私の心の心よりどころとして
- b 女院を深くお慕い申し上げるわが心をたよりどころとして
- c 私を思ってくださる深いお気持ちよりどころにして
- d 仏に帰依する私の心の深さをたよりどころとして
- e 世をはかなむ女院の隠遁生活をよりどころとして

3 傍線部③「見まゐらせざらむだに」の説明として正しいものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

オ

- a 動詞＋動詞＋助動詞＋動詞＋副助詞
- b 動詞＋補助動詞＋動詞＋助動詞＋接続助詞
- c 動詞＋動詞＋助動詞＋接続助詞
- d 動詞＋補助動詞＋助動詞＋助動詞＋副助詞
- e 動詞＋動詞＋助動詞＋助動詞＋助動詞＋接続助詞

4 空欄部Aに入る言葉として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

カ

- a いかでか
- b されば
- c たとへば
- d されど
- e まして

5 傍線部⑤「うとましく心憂し」とあるが、作者は何についてこのように述べているのか。その内容として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

キ

- a 都に帰る自分自身
- b 春の錦に象徴される都
- c 零落した平家一門
- d 移ろいゆく景色
- e 盛者必衰というさだめ

6 傍線部Bの和歌「仰ぎ見し昔の雲の上の月かかる深山の影ぞかなしき」における「雲の上」と「月」は比喩表現になっている。これらが例えているものの組み合わせとして最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

ク

- | | | |
|---|------------|----------|
| a | 「雲の上」…女院 | 「月」…女房 |
| b | 「雲の上」…安徳天皇 | 「月」…平家一門 |
| c | 「雲の上」…平家一門 | 「月」…女房 |
| d | 「雲の上」…宮中 | 「月」…女院 |
| e | 「雲の上」…安徳天皇 | 「月」…右京大夫 |

7 本文の内容に合致するものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

ケ

- a 作者は、大原の寂光院に住まう建礼門院のわびしい生活を見て、亡き安徳天皇の御霊を弔うだけの女院の日常に、世の中の無常を感じ取っている。
- b 作者は、あれほど権勢を誇った平家一門が今は滅びてしまったことを思い出し、盛者必衰のことわりを寂光院の生活と重ね合わせている。
- c 作者は、女院の大原での暮らしぶりを見るにつけ、わびしい今が夢なのか、華やかにりし昔が夢なのか、歌を詠み感慨にふけている。
- d 作者は、建礼門院の在りし日を懐かしく思い出しながら、年老いた今はすっかり別人のように容姿が衰えてしまったことを嘆かわしく見ている。
- e 作者は、鹿の声や虫の音に囲まれて暮らしている建礼門院の様子を見て、ともに女院に拝謁したお供の女房たちと涙を流して悲しんでいる。

第4問 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。ただし、設問の都合上、訓点を省いた部分がある。

楚王使景鯉^{ラシテ}如秦^ニ。客謂^{ツテ}秦王曰^ク、景鯉^ハ、楚王所^{ナリ}甚愛^{スル}。王不如^レ留^{メテ}之以^テ市^ニ。地^ヲ。楚王聽^{カバ}、則不^レ用^{シテ}兵^ヲ而得^レ地^ヲ。楚王不聽^{カカ}、則殺^{シテ}景鯉^ヲ、^①更與不如景鯉者市。是^レ便計^②也。秦王乃留^ム景鯉^ヲ。景鯉使^{メテ}人^{ヲシテ}說^カ秦王曰^ク、臣^③見^レ王之權輕^ニ天下^一、而地不^レ可得也。^④臣之來使^{ヒスル}也、聞^{ケリ}皆且^ニ割^レ地^ヲ以^テ事^{ヘント}。^⑤所以然^一者、以^テ秦^ノ與^レ楚爲^ニ昆弟^ノ國^一。今大王留^ム臣^ヲ。是示^ス天下^ニ無^キ楚也。齊魏有^マ何重^ニ於^レ孤國^一也。楚知^{ラバ}秦之孤^{ナル}、不^レ與^レ地^ヲ、而外結^{ビテ}交^{ハリテ}以^テ圖^{ラン}。則^チ社稷^ニ必危^フ。不^レ如^ト出^{サン}臣^ヲ。秦王乃出^ス之^ヲ。

(『戦国策』による)

市||あきなう。取引をする。

楚・秦・齊・魏||国名。

1 傍線部①「更與不如景鯉者市」の書き下し文として適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。 ア

- a 更^{さら}に景鯉^に與^{あた}へざるがごときは市^は市^ふ者^{なり}。
- b 更^{あらた}めて景鯉^に如^かかざる者と市^へ。
- c 更^かへつて景鯉^に如^かかざる者に與^へ市^ふ。
- d 更^に景鯉^と市^ふ者^{には}與^へざるがごとし。
- e 更^{めて}景鯉^に與^{ふる}者^は市^ははざるがごとし。

2 傍線部②「便計」の意味として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

イ

- a 巧妙なはかりごと
- b 素早いはかりごと
- c 実行しやすいはかりごと
- d 油断させるはかりごと
- e 取り入るはかりごと

3 傍線部③「見_下王之權輕_二天下_一、而地不_レ可得也」の解釈として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

ウ

- a 秦王の權威で天下の諸侯を軽んじすぎると、かえって他国の反乱を招くのではないだろうか。
- b 秦王の權威が天下の諸侯に軽んぜられますので、土地をむやみに望んではならないと思われます。
- c 秦王の權威が天下の諸侯に軽んぜられすぎると、秦の領土が他国に奪われるのではないかと思われます。
- d 秦王の權威が天下の諸侯に軽んぜられ、恐らくご所望の土地は手に入らないと思われます。
- e 秦王の權威で天下の諸侯を軽んじると、割譲されるべき土地すら手に入らなくなるのではないだろうか。

4 傍線部④「臣」とは誰のことか。最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

エ

- a 齊や魏の使い
- b 景鯉が秦王を説得するように頼んだ人
- c 客
- d 秦王の側近
- e 景鯉

5 空欄部AおよびBに入る国名の組み合わせとして正しいものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

オ

- | | | |
|---|------|------|
| a | A 秦 | B 齊魏 |
| b | A 齊魏 | B 楚 |
| c | A 齊魏 | B 秦 |
| d | A 楚 | B 齊魏 |
| e | A 楚 | B 秦 |

6 傍線部⑤「所以然者」に該当する部分は、本文中のどこになるか。該当する部分として正しいものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

カ

- a 景鯉楚王所甚愛
- b 不用兵而得地
- c 秦王乃留景鯉
- d 秦與楚爲昆弟國
- e 示天下無楚也

7 傍線部⑥「社稷」の意味として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

キ

- a 国家
- b 臣下の財産
- c 国王の権威
- d 法律
- e 他国との同盟

8

本文の内容に合致するものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

ク

- a 秦王は、景鯉が楚王の寵臣であるがゆえに、これを人質として、秦に有利な条件で楚の国と講和を結ぶことができた。
- b 楚王は、景鯉を秦に派遣し、楚と同盟をくむことが秦にとって安全であることを説明させ、楚に対する圧力を軽減することに成功した。
- c 秦の客は、景鯉は将来、秦に災いをもたらす恐れがあるので、むしろ、その命を奪うことが秦の安泰につながることを上奏した。
- d 秦王は、客の上奏と景鯉の言い分とを熟慮し、どちらの説を採ることが秦の将来にとって最も良いかを考えた結果、客の進言に従った。
- e 景鯉は、秦が楚を疎かにするようなふるまいを見せれば、秦は孤立し、楚をかえって他国側に走らせ、同盟を結ばせることになりかねないと諭した。

第5問

- 1 次の文は、平成31年2月に告示された「特別支援学校高等部学習指導要領」の「第4章総合的な探究の時間」の一部である。文中の ～ に該当する語句を、それぞれ下のa～dから一つ選びなさい。

1 生徒の障害の状態や 等を十分考慮し、学習活動が効果的に行われるよう配慮すること。

2 体験活動に当たっては、 に留意するとともに、学習活動に応じて、中学部又は中学校までの学習を踏まえ、高等学校の生徒などと交流及び共同学習を行うよう配慮すること。

3 知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校において、探究的な学習を行う場合には、知的障害のある生徒の学習上の特性として、学習によって得た知識や技能が になりやすいことなどを踏まえ、各教科等の学習で培われた資質・能力を総合的に関連付けながら、具体的に指導内容を設定し、生徒が の課題を解決できるように配慮すること。

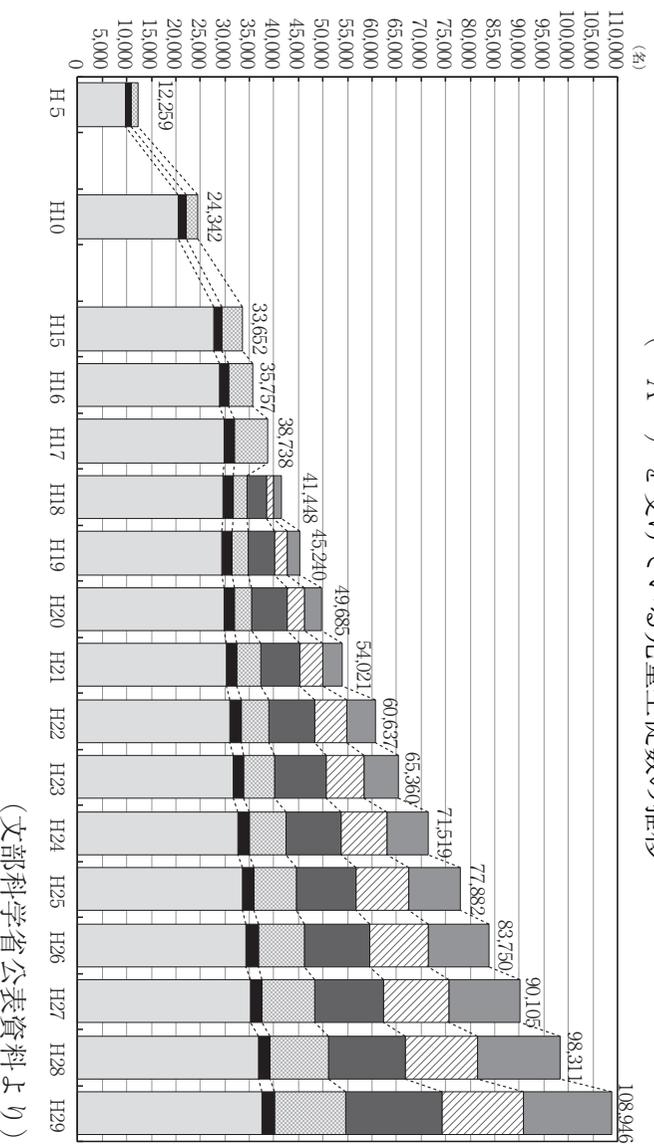
- | | | | |
|--------------------------------|----------|--------------------------------|---------|
| <input type="text" value="ア"/> | a 日常生活 | <input type="text" value="イ"/> | a 時期と回数 |
| | d 学習の到達度 | | b 安全と保健 |
| | | | c 内容と場所 |
| | | | d 環境と衛生 |
| | | <input type="text" value="ウ"/> | a 限定的 |
| | | | b 部分的 |
| | | | c 断片的 |
| | | | d 固定的 |
| | | <input type="text" value="エ"/> | a 自ら |
| | | | b 学校 |
| | | | c 地域 |
| | | | d 社会 |

3 公立の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程において、通常の学級に在籍する障害のある児童生徒が、一部の授業において、障害に応じた特別の指導を受ける制度がある。

次のグラフは、この指導形態の対象となった児童生徒数の推移と、主たる障害種ごとの人数の内訳を表したものである。

特別支援教育の現状 ～ (A) の現状 (平成29年5月1日現在) ～

(A) を受けている児童生徒数の推移



(1) この指導形態の制度の名称 (A) として正しいものを、次の a～d から選びなさい。

- a 取り出しによる指導 b 個別対応による指導 c 通級による指導
- d 特別支援学級による指導

(2) 平成18年度から対象となる障害種が追加されたが、新たな障害種の組み合わせとして正しいものを次の a～d から選びなさい。

- a 病弱, 視覚障害, 聴覚障害
- b 知的障害, 学習障害, 自閉症
- c 注意欠陥多動性障害, 情緒障害, 自閉症
- d 注意欠陥多動性障害, 学習障害, 自閉症

(3) (A) の指導形態については、平成30年度より高等学校においても制度化がなされている。制度化に伴い障害に応じた特別の指導について単位認定が可能となったが、障害に応じた特別の指導を行う場合には、特別支援学校高等部学習指導要領におけるある指導領域の内容を参考することとなっている。参考とする指導領域として、正しいものを次の a～d から選びなさい。

- a 自立活動 b 道徳 c 特別活動 d 総合的な探究の時間

